

老健いばらき

第49号

2016.8.1



筑波宇宙センター

写真提供／つくば市役所シティプロモーション室

筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一画にあり、1972年に開設しました。約53万平方メートルの敷地に、研究学園都市にふさわしい緑豊かな環境と最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。JAXAの推進する活動のうち、宇宙からの目となる人工衛星の開発・運用およびその観測画像の解析、「きぼう」日本実験棟を用いた宇宙環境利用や、宇宙飛行士養成と活動・推進、ロケット・輸送システムの開発と、技術基盤確立のための、技術研究推進を行っており、日本の宇宙開発の中核センターとしての役割を果しています。



つくば市イメージキャラクター
「フックン船長」

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／平成園 小柳 賢時

編集人／かすみがうら
編集／田尻ヶ丘ヘルシーケア
鹿野苑
プラタナスの丘
シニア健康センターしおさい
つくばリハビリテーションセンター

大場正二
石川達也
熊坂裕吾
大曾根卓
児島強
鈴木基博

会長ご挨拶

一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会

会長 小柳 賢時

役割を考え活動していく所存です。宜しくお願ひします。

一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会

ご挨拶

地域包括ケアシステム構築に向けて、各地域で動き出しています。各自治体・コミュニティにおいて、人口構造の違い、人材不足の差、地域住民の意識の違いなどにより、温度差が大きいと思います。在宅支援は、訪問介護・看護・訪問リハビリ・介護離職ゼロを目指した家族支援など、施設で行つよりも人材を必要とし多くの「コスト」も必要です。しかし、地域包括ケアシステムの理念の元、軌道に乗せていかなければなりません。老健は各

地域に存在し、多機能を持つ施設です。多職種協働も施設同グループにおいては、各職種平等な立場でチームケアを行つてきました。

地域になると経営母体も異なり、医療・介護・「ミニユーニティ」との連携は、情報の共有をどのように行つていくのか考えてなくてはなりません。地域において医師を中心としたピラミッド型の連携が機能しやすいのか、施設と同じように平等型の方が良いのか、地域において決めていかなければなりません。在宅復帰・在宅生活支援・看取り・リハビリなど、老健が今まで培つてきたことを、地域においても中心的な役割を担つことに期待します。

先日、平成27年9月の関東・東北豪雨災害に対し、被災者支援・復興に貢献したこと、茨老健が感謝状を頂きました。関係者の皆様のご協力誠にありがとうございました。

大災害の危険性を考え、さらに茨老健としても対策を考えていきたいと思います。最後になりましたが、6月30日の全老健第5回定時社員総会において、茨城県支部の推薦を頂き、関東ブロック推薦の理事を拝命しました。微力ですが、今後の老健の在り方、

のもと住宅医療、在宅リハ、在宅看護へと新しい利用者への積極的な支援を構成し、努力を始めている。

「地域包括ケアシステム」や「地域医療構想」策定について、医師会も参画し取り組んでおりますが、療養病床の将来や、地域格差が顕著になり、特に石岡、小美玉地域は、地域区分が最低です。地域内にて介護、医療、看護、リハビリの充実を目指し、茨城県内の老健が全力を挙げて協力し、強い老健を作れるべく、今後の努力にかかるかといふと考える。

石岡市医師会 介護老人保健施設ゆうゆうは、石岡市医師会50周年記念事業として平成10年に設立された。介護保険スタート2年前です。昭和61年に開設された石岡市医師会病院の併設と云つ事でした。

職員全員が地域の高齢者の方々に少しでもお役に立つと云つ事をモットーに「出来ません。」「やれません。」「してはいけません。」を絶対に口に出さず、利用者の方々に快適な生活をエンジョイしてもらつたために全力を挙げる事でスタートしました。

中でも、リハビリリテーションには最も力を入れ、施設長が整形外科医と云う事もあり、リハビリの施設提供整備に多くの情熱を注ぎ、今現在、スタッフ20余名を有し、利用者の自立支援、在宅復帰へと多大な貢献が出来ています。が、開設当初から比べると、経営悪化は徐々に進んでおり、昨年度は開設以来、初めて計画赤字となりました。

人件費の高騰、経費の上昇の中、介護報酬の引き下げ、加算の算定困難もあり、在宅復帰率の経営への矛盾、その上、利用者の負担過重が重なり、大変なジレンマに陥っています。今後の利用者のリピート度の上昇を期待し、二、二、二にあつたケアの提供、リハビリへの信頼と快適さの提供、ターミナルケアの積極的な実施・説明、関連事業施設（訪問看護、特老、サ高住、ヘルパーステーション、居宅介護支援、在宅介護支援センター、健診センター、病院、病院分院）との緻密な連携

者の増加も見込まれることから、昨年1月には国家戦略として認知症対策の充実に向けた「新オレンジプラン」が策定され、11月には一億総活躍国民会議において少子高齢社会に向けた対策が取りまとめられました。

本県では国の政策を踏まえ、「第6期いばらき高齢者プラン21」に基づき、各種施策を開展しております。団塊の世代全てが75歳以上となる平成37年を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を政策目標の柱に掲げ、この目標を早期に実現するため、市町村及び関係団体の皆様と引き続き連携を図りながら推進していくことになります。

地域包括ケアシステムの構築にあたり、介護老人保健施設が果たされる役割は大きなものがあります。在宅復帰支援機能の強化に取り組まれるだけでなく、医療の専門知識を有する職員が多いことから、訪問看護や訪問リハビリリテーション等の訪問系サービスに積極的に取り組んでいただこうことで、高齢者が地域でケアを受けながら安心して生活できる体制づくり等が期待されるところです。

結びに、今後とも本県の高齢者行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

茨城県保健福祉部
長寿福祉課地域ケア推進室

室長 村田 隆

ご挨拶

茨城県保健福祉部

長寿福祉課地域ケア推進室

室長 村田 隆

ご挨拶

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方にには、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様もご存じのとおり、我が国では高齢化が急速に進んでおり、介護サービスを必要とする高齢者も増加の一途を辿っております。

このよだな中、高齢者が高齢者の介護を行ふ老老介護や、家族介護ための介護離職等が問題となつてきております。また、介護施設にあつては、介護職員や看護職員などの人材確保等が喫緊の課題となつております。

今後、高齢化がさらに進展し、認知症高齢

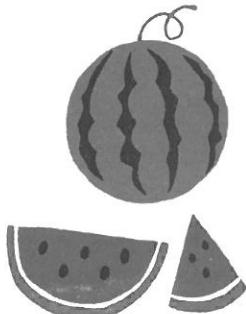


**職種別専門委員会
委員長挨拶**

リハビリテーション専門委員会

みがわ

笠原 鉄聰



今年度より、リハビリテーション専門委員会の委員長を務めさせて顶きます、老健みがわ理学療法士の笠原鉄聰です。委員会の皆様とともに多くのことを学びながら精一杯努めたいと思います。

今年度は3回の研修会を予定しています。6月に開催した第1回研修会では「これから老健リハビリ、生活行為向上のための連携」をテーマに作業療法士とケアマネージャーを兼務されている涼風苑の浅野氏にご講演頂きました。グループワーク形式で行われ、多職種の方にご参加いただきました。今後、「通所リハビリテーション関連」と「訪問リハビリテーション関連」の研修を予定しています。

「地域包括ケアシステムの構築」への対応が求められる時代だからこそ専門職としての知識やスキルだけではなく、施設間同士の横のつながりも深められるよう、様々な取り組みを行っていきたいと思っています。当委員会の運営にご協力を宜しくお願い致します。

栄養専門委員会

つくばリハビリテーションセンター
高橋 歩美

今年度より、栄養専門委員会の委員長を務めさせていただくことになりました、つくばリハビリテーションセンター管理栄養士の高橋歩美です。

不慣れな事もあり迷惑をかけることがあります。と思いませんが、委員会の皆様に支えて頂きながら精一杯努めていきたいと思います。

当委員会では、前年度の反省点を踏まえ、県内5ブロックに分かれての勉強会をいつたん中止し、全体での研修会や情報交換ができる機会を増やしました。

7月には「今さら聞けない栄養ケアマネジメント」ということで、管理栄養士として原点へ戻り、個々にあつた栄養ケア計画が立たれるよう講師の先生を招いて基礎から学びました。そして秋頃には、いま注目されるリハ栄養（サルコペニア等）に関する講演を含めた全体研修会を開催予定です。

今後も有意義な研修会の企画・運営を心がけていきたいと思いますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。また、ご多忙とは存じますが研修会へ参加の際には、多数のご参加を頂けますので、ご参考までに申上げます。

支援相談員専門委員会

鹿野苑

永坂 府子

今年度も、年2回の研修会を予定しております。

第1回研修会は6月20日に、石飛幸三先生による「平穏死（ターミナルケア）」を開催し、多数の方にご参加頂きました。

今回の講演を今後、皆様の業務のご参考にして頂ければ幸いです。

また、第2回目は9月頃を予定しております。

今、介護業界でも問題となつております「高齢者虐待」について研修会を開催致しますので、多数のご参加を頂きますようお願い申上げます。

今後のより良い研修会の為に、アンケートやお声を頂戴し来年度の研修会を開催したいと思いますので、ご多忙とは存じますが引き続き当委員会の運営にご協力の程よろしくお願い致します。

今年度より、事務専門委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました、みなと苑寺門 薫です。

不慣れではあります、私自身も多くのことを学び、委員会の皆様に支えて頂きながら精一杯務めていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

今年度も2回、研修会を予定しております。

第1回目は8月に、全職種対象の接遇研修「新人・若手ステップアップ研修」第2回目は11月に、「モチベーション向上」の内容を予定しております。ご多忙とは存じますが研修会の際には、多数のご参加をして頂きますようお願い申上げます。

また、当委員会で施設間の情報を交換し日頃疑問に思っていることなど、話し合えるよう交流を深めていければと考えております。

事務専門委員会

みなと苑

寺門 薫

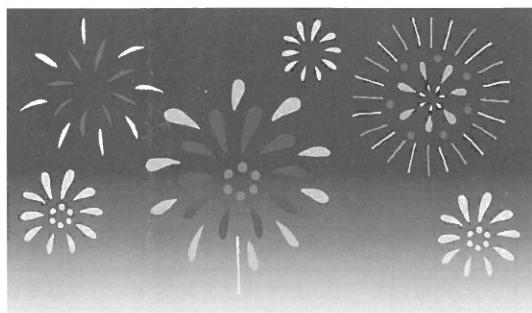
看護・介護専門委員会

サンライズ湊
砂押 佑

平成28年度より、看護・介護専門委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました。介護老人保健施設サンライズ湊 砂押 佑です。日頃より、当委員会の運営にご協力頂き感謝申し上げます。

今年度より、支援相談員専門委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました、鹿野苑の永坂府子です。右も左もわからない新人ですが、精一杯頑張っていきたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

支援相談員専門委員会では、昨年度好評だったグループワークを今年度も開催する予定となっております。支援相談員は施設の中で少人数の職種であり、同じ立場の人たちと話し合う機会が少なくなりやすいと思います。ぜひ研修にご参加いただき、日頃の疑問や悩みを相談し、業務に役立てていただければと思っております。



防災に関するアンケート 1/2

回答施設 106施設中 58施設 (回答率. 54.7%)

(回答いただいた項目の一部のみ掲載しております。その他の回答項目については協会HPに記載しています)。

- あなたの施設は、自然災害による被害を経験したことはありますか？

	回答数	割合
ある	52	90%
ない	6	10%
合計	58	100%

- 上記で「ある」と答えた場合はその自然災害の種類を、「ない」と答えた場合は身近に危険をかんじたことがあるものを選び、該当する項目がない場合はその他へ記入して下さい。(複数回答可)

上記で「ある」と答えた施設

自然災害の種類	回答数	割合
地震	52	74%
津波	2	3%
台風（暴風雨）	2	3%
豪雨	3	4%
河川の氾濫	3	4%
土砂崩れ・崖崩れ	1	1%
高潮	0	0%
豪雨	1	1%
落雷	5	7%
竜巻	2	3%
被害や危険を感じたことはない	0	0%
合計	71	100%

- あなたの施設に自然災害に対する防災マニュアルは整備されていますか。

防犯マニュアルの整備の有無	回答数	割合
ある	23	40%
あるが内容を見直す必要があり	22	38%
無いが作成中である	5	8%
無いので作成するか検討中	7	12%
無い（作成する予定なし）	1	2%
合計	58	100%

上記で「ない」と答えた施設

自然災害の種類	回答数	割合
地震	4	67%
津波	0	0%
台風（暴風雨）	0	0%
豪雨	1	17%
河川の氾濫	0	0%
土砂崩れ・崖崩れ	0	0%
高潮	0	0%
豪雨	0	0%
落雷	0	0%
竜巻	0	0%
被害や危険を感じたことはない	1	17%
合計	6	100%

- あなたの施設が、自然災害対策を重視するようになった、又は考え方を変えた時期はいつ頃からですか。

自然災害を重視するようになった時期	回答数	割合
東日本大震災以前から	3	5%
東日本大震災以後から	51	88%
関東・東北豪雨以後から	2	3%
自然災害に対する対策を重視していない	1	2%
無回答	1	2%
合計	58	100%

- あなたの施設では、自然災害を想定した防災訓練や、職員に対し自然災害に関する教育を実施していますか？

実施の有無	回答数	割合
訓練、教育共に実施している	15	26%
訓練だけ実施している	16	28%
教育だけ実施している	7	12%
どちらも実施していないが今後計画する予定	14	24%
どちらも実施していない	6	10%
合計	58	100%

防災に関するアンケート 2/2

・あなたの施設では、自然災害に対して、どのような備えを行っていますか。(複数回答可)

自然災害に対する備え	回答数	割合
防災用に携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品等を準備している	43	17%
災害用に食糧や飲料水、調理用にカセットコンロ等を備蓄している	50	20%
近くの学校や公園など避難する場所や経路を決定している	9	4%
避難に使用するための車両を確保している	21	8%
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	11	4%
職員や利用者の家族との連絡方法を決めている	29	12%
施設建物の補強工事をしている	1	0%
窓ガラスなどに飛散防止のためのフィルムを貼ったりしている	2	1%
ハザードマップで防災情報を確認している	13	5%
非常用トイレを準備している	9	4%
発電機など停電対策危機がある	42	17%
他法人等と被災時に支援を受ける為の協定を凝縮している。又は協力体制を構築している	18	7%
防災時の避難先として、他県の施設と提携している	2	1%
その他	1	0%
合計	251	100%

・食糧、飲料水はどのくらい(何日分)備蓄していますか。

食糧		
利用者1名に、1日3食として		
	回答数	割合
0日～3日分	52	90%
4日～7日分	5	8%
無記入	1	2%
合計	58	100%

飲料水		
1日1,500mlとして		
	回答数	割合
0日～3日分	47	81%
4日～7日分	10	17%
無記入	1	2%
合計	58	100%

その他

※飲料水の他、貯水タンクあり、※井水・ポンプ用自家発電機あり、※その他受水槽あり

・自然災害に対し、あなたの施設に早急に整備すべき事や、必要性が高いと考える事はありますか。
該当項目がない場合は、その他へ記入して下さい。(複数回答可)

自然災害に対する対処等	回答数	割合
災害用備蓄の増強	27	27%
施設建物の補強工事	9	9%
防災訓練や職員への教育の充実	40	40%
他法人との被災時に相互に支援する協力体制の構築	17	17%
その他 ※1	3	3%
特になし	4	4%
合計	100	100%

※1 マニュアルの見直し ※原発事故時に安全確保可能なシェルター及び避難車両 ※無記入

介護ロボットに関するアンケート 1/2

回答施設 106施設中 58施設 (回答率 54.7%)

(回答いただいた項目の一部のみ掲載しております。その他の回答項目については協会HPに記載しています)。

- あなたの施設では介護の現場にロボットが導入されていますか？

	回答数	割合
導入している	6	10%
導入していない	52	90%
合計	58	100%

- ロボットを導入されている施設にお尋ねします。
ロボットの名前を教えてください。

ロボット名	回答数	割合
HAL	3	50%
ロボットスーツHAL下股用	1	17%
コミュニケーションロボットPALRO	1	17%
無記入	1	17%
合計	6	100%

- 導入台数を教えてください。

ロボット名と台数	回答数	割合
HAL 1台	1	17%
HAL 2台	1	17%
HAL 3台	1	17%
ロボットスーツHAL下股用 1台	1	17%
コミュニケーションロボット PALRO 1台	1	17%
無記入	1	17%
合計	6	100%

- 1台当たりの年間維持費を教えてください。

維持費	回答数	割合
228万円	1	17%
200万円	1	17%
100万円～200万円	1	17%
年間リース料 38万8千円	1	17%
無記入	2	33%
合計	6	100%

- 導入のきっかけを教えてください。

きっかけ	回答数	割合
市及び県からの情報提供	1	17%
リハビリの充実	2	33%
他事業所で導入し評判が良かつたから	1	17%
利用者・職員のモチベーション向上の為	1	17%
無記入	1	17%
合計	6	100%

- 介護ロボットの導入を考えていますか？

	回答数	割合
考えている	15	26%
考えていない	17	29%
どちらでもない	17	29%
無記入	9	16%
合計	58	100%

- 導入して良かったこと・悪かったことを教えてください。

良かったこと	回答数	割合
PRとしては良い	1	17%
治療効果が上がった	1	17%
リハビリの幅が広がり満足度が向上した	2	33%
導入したばかりで分からない	1	17%
無記入	1	17%
合計	6	100%

悪かったこと	回答数	割合
装着に人手・時間がかかり面倒	3	50%
特になし	1	17%
導入したばかりで分からぬ	1	17%
無記入	1	17%
合計	6	100%

介護ロボットに関するアンケート 2/2

・介護ロボットを導入するとしたらどの種類を考えますか？（複数回答あり）

		回答数	割合
介護支援型ロボット	（ロボットスーツ「HAL」等） 移乗・入浴・排泄等の介護業務の支援	35	60%
自立支援型ロボット	（ロボティックベッド等） 歩行・リハビリ・食事・読書等介護 される側の自立を支援	7	12%
コミュニケーション・セキュリティ型ロボット	（バイオリン演奏ロボット等） 癒してくれる、見守りをする	8	14%
無記入		8	14%
合計		58	100%

・介護ロボット導入に割り当て可能な予算を教えて下さい。

予算額	回答数	割合
0円	6	10%
50万円以下	25	43%
100万円以下	11	19%
150万円以下	1	2%
200万円以下	3	5%
無回答	12	21%
合計	58	100%

※200万以上の予算割り当て可能な施設は回答数0でした。

・介護ロボット導入の妨げになる要因はありますか？
(複数回答あり)

要因	回答数	割合
妨げになる要因はない	0	0%
導入費用が高額	40	30%
導入効果がわからない	26	19%
事故が心配	17	13%
利用者が受け入れてくれるかが心配	15	11%
家族の理解が得られるか心配	8	6%
機械に頼ることへの抵抗感	10	7%
製品への信頼が不足している	14	10%
その他	5	4%
合計	135	100%



コミュニケーションロボットPALRO写真

平成28年度一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会事業計画

事業	実施内容	実施期日	会場	担当
会議	定時社員総会	5月27日（金）	ホテルグランド東雲	会長
	定例理事会	5月27日（金） 11月又は12月 3月 日（）	ホテルグランド東雲 未 定 未 定	会長
広報委員	広報委員会 「老健いばらき」担当者会議	5月30日（月） 11月 日（）	ホテル レイクビュー水戸 未 定	広報委員会 事務局
学術委員	学術委員会 研究発表会担当者会議	8月23日（火） 12月 日（）	つくば国際会議場 未 定	学術委員会 広報委員会 事務局
	第24回研究発表会 茨城県功労者 協会功労者・永年勤続者表彰	2月23日（木）	つくば国際会議場	学術委員会 広報委員会 事務局
機関紙	老健いばらき 第49号発行 第50号発行	8月 1日（月） 2月 1日（月）		広報委員会 事務局
県委託事業	茨老健会員施設職員対象 権利擁護推進員養成研修	3月末までに実施	未 定	茨城県 事務局

老健いばらき

事業	実施内容		実施期日	会場	担当
専門委員会	看護・介護	ターミナルケア (概要・心構え・実例)	6月20日(月) 14:00~16:00	茨城県健康プラザ	看護・介護 専門委員会 事務局
		高齢者虐待	9月	つくば	
	支援相談員	グループワーク ・在宅復帰の取り組みについて ・連携への取り組みについて ・加算に対する取り組みについて ・その他	7月1日(金) 14:00~16:00	茨城県立健康プラザ	支援相談員 専門委員会 事務局
		メンタルヘルス、バーンアウト	10月	水戸	
	栄養	・栄養マネジメント指導について(午前) ・グループワーク(午後)	7月8日(金) 10:00~16:00	茨城県立健康プラザ	栄養専門委員会 事務局
		・リハビリ栄養について ・病態栄養について	11月	水戸	
	事務	新人・若手ステップアップ研修(接遇) (全職種対象)	8月5日(金) 9:30~16:30	茨城県立健康プラザ	事務専門委員会 事務局
		モチベーション向上研修	11月11日(金) 14:00~16:00	茨城県立健康プラザ	
	リハビリテーション	これからのお老健リハビリ・ 生活行為向上のための連携	6月17日(金) 18:00~21:00	総合福祉会館	リハ専門委員会 事務局
		通所リハビリ関連 (リハマネ加算Ⅱなど)	10月21日(金) 18:00~21:00		
		訪問リハビリについて	2月17日(金) 18:00~21:00		
職種別 専門委員会	看護・介護、支援相談員 事務、栄養		2月~3月	未定	各種専門委員 事務局

食の介護士～食の楽しさを感じて頂けるよう日々精進～

家族と食べる朝食でも、同僚と食べる昼食でも、カップルで食べる夕食でも、施設で食べる介護食でも、楽しい方が良いと思いませんか？介護食だからといって・・・。個々に対応することは当然として、その中で何ができるか？当施設ではその点も考え取り組んでいます。簡単ではありますが取り組みの一部をご紹介します。

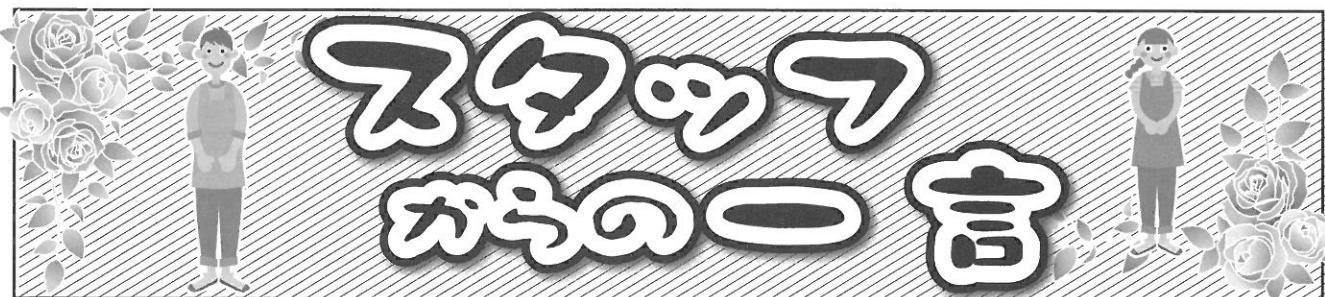
1つ目に、イベント食の充実。暦通りの行事は勿論の事オリジナルイベントとして、季節限定食『旬食材を取り入れた三昧シリーズ』選べるお食事『セレクトメニュー』おやつ限定『スイーツアラカルト』等、利用者様の楽しみになればと毎月数回実施しています。

2つ目に、月1回の料理コンテストの実施。栄養科職員全員個々にお題に沿ったメニューを調理し、職員に試食して頂き腕を磨いております。優勝メニューは、イベント食としてご提供しています。

3つ目に、調理だけでなく配膳を行い、直接お声を聴いています。味だけでなく、食の思い出、ご家族の話等を聴ける機会となっています。

体に入って栄養となるお食事、非常に大事です。しっかり食べてもらう為には、どうすればいいか？栄養、味、食事形態等は勿論として、プラスアルファ個々に食の楽しさを取り入れていけるかにあると考えます。

仲良く楽しく笑って食べるお食事が1番おいしいと思います。皆様がそうなれるよう、食に携わる職員、『食の介護士』として少しでもお役に立てるよう日々精進しています。



安心できる自宅復帰と在宅生活を支えたい

当施設は、鹿島灘を望む高台にあり、海と緑を存分に吸収しながら充実したリハビリを送っていただける環境にあります。

入所される方の多くは、在宅復帰を目標として病院から入所します。入所後、早期に自宅訪問を実施しており、家屋環境や入所前の生活状況を確認しています。訪問結果より、自宅復帰時に達成すべき身体機能の再獲得と具体的な生活行為を設定し、入所中のリハビリへと活かしています。入所中の居室環境の調整も支援しており、福祉用具やポータブルトイレ等を使用して、なるべく自宅に近い環境を作り、生活場面でも安全な動作を身に付けることが出来るようにしています。その際、介助方法や生活行為の目標などの情報を看護師や介護士と共有しており、日常生活の中でもリハビリの効



介護老人保健施設 鹿野苑
作業療法士 鈴木 真奈美

果を最大限に発揮できるようにしています。退所前には在宅ケアマネ、施設ケアマネ、家族の方と担当者会議を行い、退所前訪問にて環境調整や介護サービスの調整を行っています。また、退所前には家族指導を行っており、介助方法の練習を一緒に行っています。

退所後は、通所リハビリにて自宅生活に戻ってからの生活を支援しています。通所リハビリでは、積極的にマシントレーニングを取り入れており、今年5月にはパワープレートを導入し、さらなる身体機能の向上と自立支援を行ってきたいと思います。

これからもひとりでも多くの方が安全に安心して自宅に帰ることが出来るようにリハビリを提供し、多くの方が笑顔で自宅生活を送ることが出来るように支援していきたいと思います。

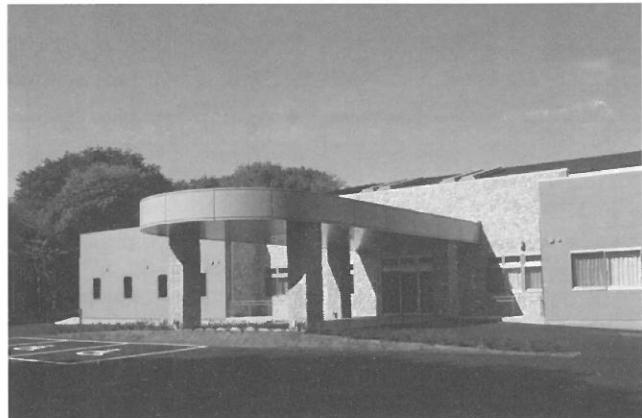
新施設紹介

平成28年4月1日、筑西市古郡に『介護老人保健施設プレミエール元気館 筑西』を開設しました。

医療法人社団みなみつくば会としては、2か所目の老健施設で、定員は100名。認知専門棟（40床）と通所リハビリテーション（30名）、居宅介護支援事業所も併設しました。

同施設では、ロボットHAL®福祉用（下肢タイプ）やデジタルミラー、TRXトレーニングマシンなど最新のリハビリ機器を導入しました。リハビリテーションの総合管理を目指します。入所リハビリ、通所リハビリとともに利用することができます。

4月21日より入所サービス 5月9日より通所リハビリを開始致しました。



**医療法人社団みなみつくば会
介護老人保健施設
IMAGAWA プレミエール元気館 筑西**

茨城県筑西市古郡554-3
TEL: 0296-57-7000 FAX: 0296-48-6556
理事長 今川 民子 施設長 吉田 秀明

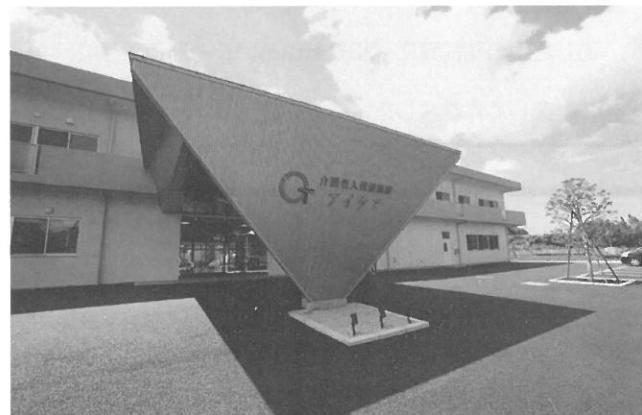
「アイケア」は平成27年10月に、入所100名（多床室80名・ユニット20名）、通所30名の施設として、守谷市小山に開設いたしました。

関東鉄道常総線「戸頭駅」より徒歩5分と、公共交通機関の便の良い立地は、ご面会者の方々からも喜ばれております。

1階には地域交流スペースとして地域のボランティアの方々と交流がはかれるような開放的な空間を設けております。また、ユニットの各居室にはトイレと洗面台を設置し、個人のプライバシーを尊重しながらも家庭的な雰囲気の中で生活できるように支援しております。ユニットの共同スペースのミニキッチンでは利用者様の嗜好に合わせたおやつ作りも実施しており、ご好評をいただいております。

胃ろうや鼻腔栄養の方、またインスリン注射が必要な方等、医療依存度の高い方もご利用いただいております。

住みやすさランキングで全国的にも上位をしめる守谷市の中で、地域の皆様に信頼していただける高齢者福祉施設つくりのために職員一同努力していきたいと思っております。これからも皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



**医療法人 美湖会
介護老人保健施設 アイケア**

茨城県守谷市小山318番5
TEL: 0297-38-6767 FAX: 0297-38-6501
理事長 岩瀬 剛 施設長 渡利 千里

ごぎょうの里 (筑西市)



●「合同綱引き大会」

年に2回、入所・通所合同のスポーツ大会を開催しています。この写真は、昨年行われた「綱引き大会」での試合中の様子です。参加された80名近い利用者様が、入所・通所混合の8チームに分かれ、日々のレクリエーションで練習した成果を発揮し、握る綱に力を込め引っ張り合います。チーム一丸となって優勝を目指す利用者様の姿に、応援する私達も手に汗握りました。

次回のスポーツ大会に向けて練習に励んでいきたいと思います。

み
ん
と
よ

あいあい (石岡市)



当施設では、利用者様一人一人に生きがいを感じてほしいという事からできるだけ個々の趣味を続けられるよう支援していきたいと考えています。

その中で、二人の男性利用者様が、熱心に取り組んでいる作品を紹介したいと思います。

一つの作品を仕上げるのに半年ほどかかり、材料の木材のもこだわりを持ち丁寧に作成しました。

職人さんにも負けないくらい素晴らしい作品に仕上がりました。

エバーグリーン (茨城町)



ご利用者様と一緒に折り紙であじさいを作りました。

あじさいの花言葉に『和氣あいあい』とあるように、皆様と楽しく作りました。

な
土
場

おはよう館 (北茨城市)

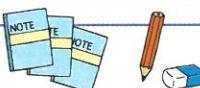


この作品は、デイケアに通われている利用者様が作った作品です。

手指機能訓練を兼ねて、楽しみながら少しずつ作りました。

手芸を趣味にされて居られる利用者様が、模様や網目の数を確認しながら、仲の良い利用者様同士が集まり、お話をしながら作って頂きました。

一編集後記



5月に開催された「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」は、つくば市のイメージがさらにひろがる良い機会だったと思います。表紙のキャラクターの「フックン船長」は、市の特徴「自然（フクロウ）」と「科学（ロボット・宇宙飛行士）」をモチーフとした宇宙飛行士型ロボットです。JAXAの宇宙飛行士、大西卓哉さんの国際宇宙ステーション滞在も半ばが過ぎました。2か月後の無事帰還を祈りたいと思います。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町1918（月・金9:00~13:00）

TEL. 029-291-5376 FAX. 029-291-6057

平成園

古河市旭町1-17-39（左記以外時間帯対応）

TEL. 0280-31-5998 FAX. 0280-31-7767